操作（動作）のしかた

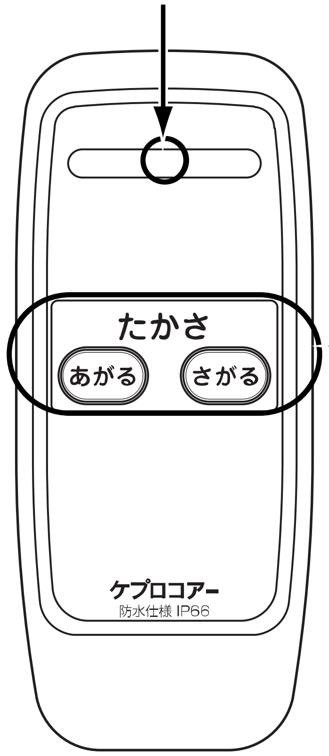
●手元スイッチと操作のしかたについて

ベッドを操作する前に電源プラグをコンセントに差し込んで下さい。

手元スイッチのボタンでベッドの高さを無段階に調節できます。
ボタンを押すと動き、離すとその位置で止まります。必要な位置まで動かしてお使いください。

●「たかさ」（上下昇降）について

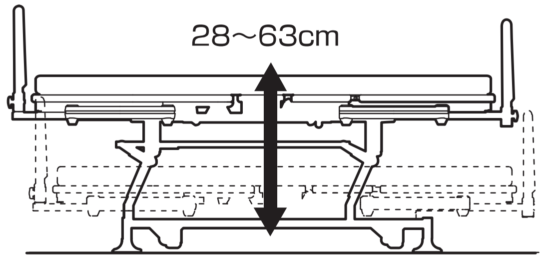
ランプ　ボタンを押すと、緑色に点灯します。



ケプロコアー811
手元スイッチ

ベッドの上げ下げボタン
ベッドの高さが調節できます。

- ●乗り降りの時に高さを調節
- ●サポートしやすい高さに調節する時に便利
- ●腰に負担をかけない



●ベッドの高さを調節できます。
ゆかからボトムまでの高さを28〜63cmの間で調節できます。

ポイント

●手元スイッチのボタンを押して下記のような症状が起きたら、ケプロコアー820R／830の取扱説明書『故障かな？と思ったら』（P36）を参照して点検して下さい。
＊ランプが点灯しない。
＊ベッド（上下）が動かない。
それでも直らない場合は、販売店にご連絡ください。

●モーターの連続使用時間は6分までです。
6分以上の連続使用は行わないで下さい。次に使用する場合は十分に時間をおいて使用して下さい。

お願い

●お子さまや操作が理解できないと思われる方がひとりで手元スイッチに触れる可能性がある場合（介護する方の外出時など）には、電源プラグをその都度抜いて誤作動による事故を未然に防いで下さい。

●手元スイッチは防水仕様ですが、むやみに水やジュースをこぼすと、感電、事故、破損の原因となります。万一、液体がかかってしまった場合には、必ず電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

警　告
事故やケガの恐れがあります。
ベッドに乗り降りする場合は乗り降りしやすい高さにベッドを調節し、しっかりと腰をかけてから行って下さい。

ケプロコアー811 廃盤 組み立て説明書

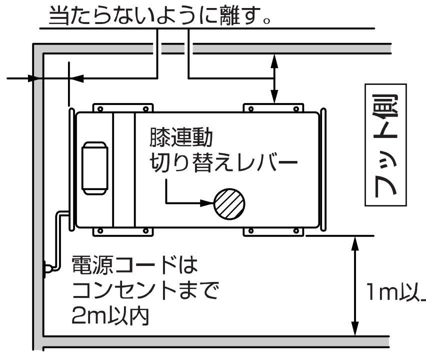
KEPROCORE®

必ずお読みください

ケプロコアー811は、1モーター（高さ調節）のベッドです。ケプロコアー820R／830とは組み立てかたと操作方法が一部異なりますので、本書とケプロコアー820R／830の取扱説明書を照らし合わせながらベッドの組み立てと操作を行って下さい。また、ご使用の際の注意事項などは、ケプロコアー820R／830の取扱説明書P4〜P7の「安全にお使いいただくために」をよくお読みください。

設置について

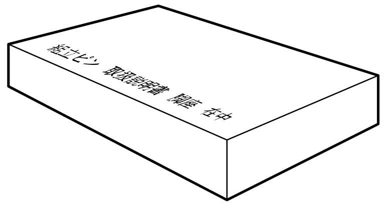
ベッドを設置する際は、以下の条件を考慮して下さい。
●設置スペースを確保する（右図参照）
1.療養されている方がベッドの左右どちら側から乗り降りがしやすいか。
2.介助をするためのスペースがどれだけ必要か。
●丈夫なゆかを選ぶ
ベッドの重量は約69kg（セミダブル・ロング時）です。ベッドの重量と療養される方、オプション製品なども含めた重量が使用時の静荷重となります。この荷重に十分耐えられるゆかの強度を確保して下さい。



開梱と部品の確認

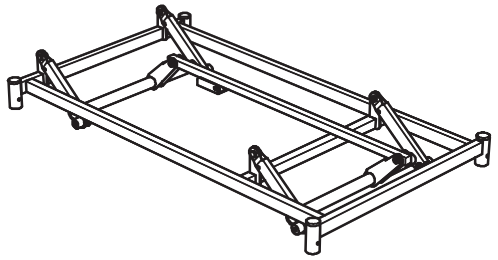
●組み立てる前に

●組み立てる前に、下記の部品などが全てそろっているかどうか確認してください。
●不足している部品や、破損している部品がある場合は、販売店にご連絡ください。

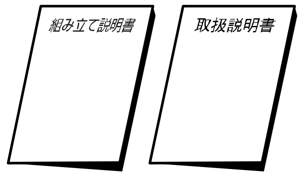


131×78×18（cm）

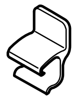
□ハイローベースユニット



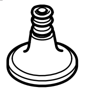
□ケプロコアー820/830 取扱説明書（1冊）
□ケプロコアー811 組み立て説明書（1部）



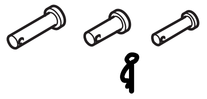
□マットレス止め（6個）

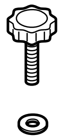


□脚座（4個）

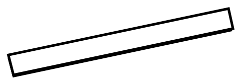


□組み立てピン



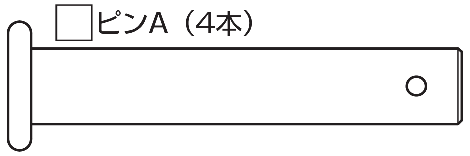


□ノブボルト（4個）
□ワッシャー（4個）

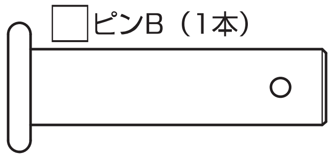


□両面マジックテープ（1本）

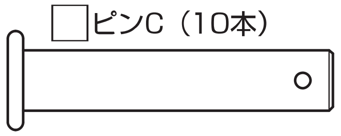
□ピンA（4本）

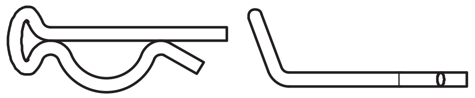


□ピンB（1本）

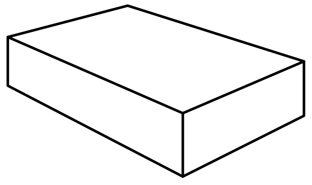


□ピンC（10本）

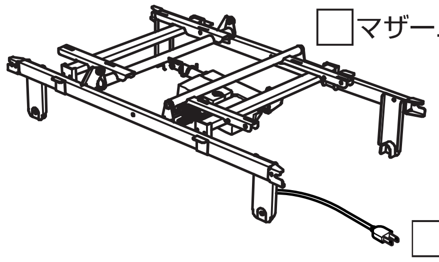




□スピードピン（15本）



110×68×28（cm）



□マザーユニット
□電源コード

□手元スイッチ

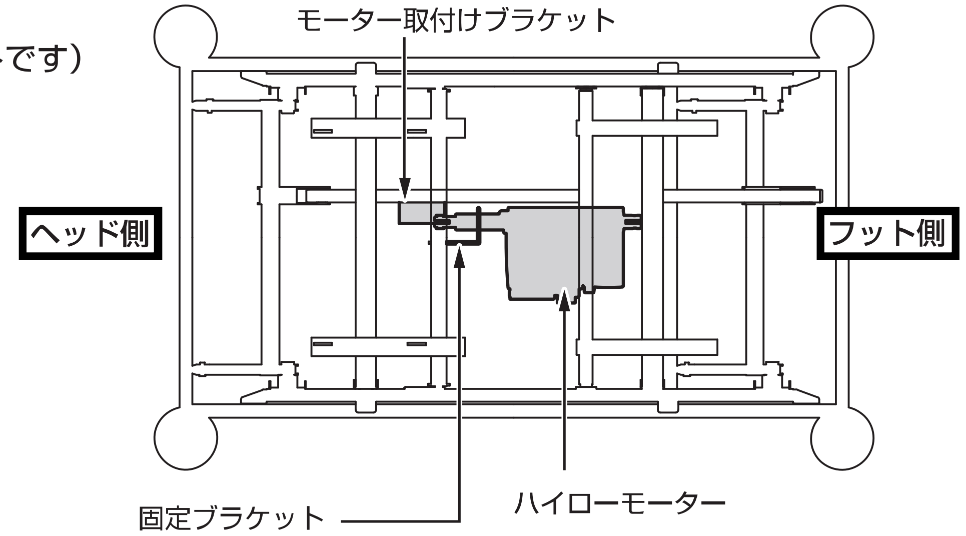
ケプロコアー820R／830 と共通の組み立て項目	1.脚座を取り付ける	P16
	2.マザーユニットを取り付ける	P16

3.モーターを取り付ける

●位置関係
（ベッドを上から見たイラストです）

ポイント

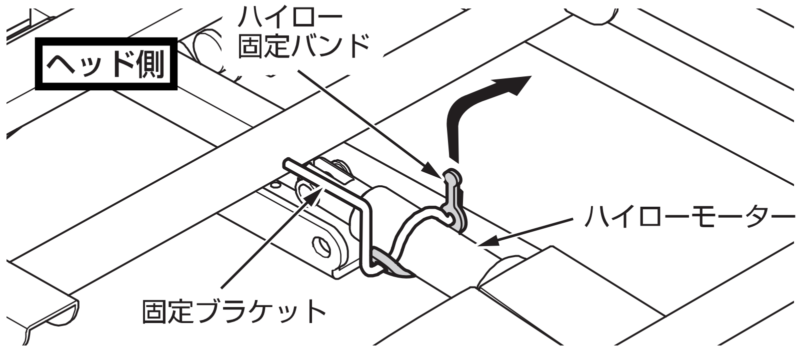
CORE-820R／830とはハイローモーターの位置が違いますので御注意ください。



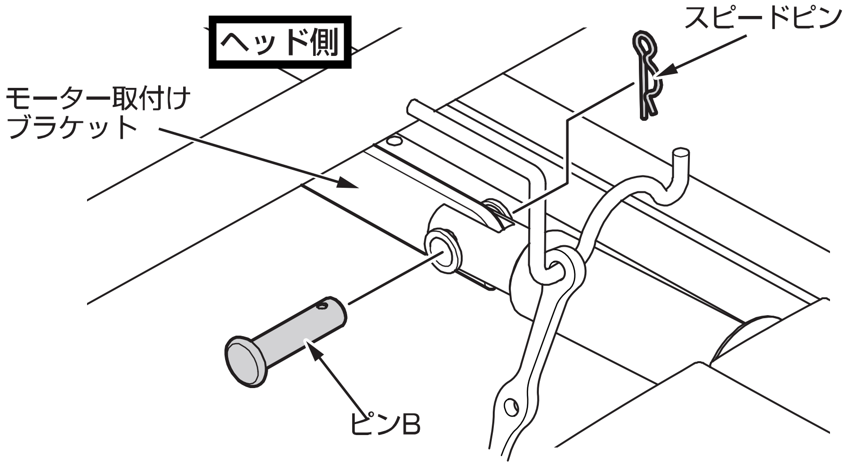
お願い

事故、破損の原因となります。
ハイローモーターが脱落しないよう必ずハイローモーターを手で支えてください。

❶ ハイロー固定バンドの先端を矢印方向に引っ張って、固定ブラケットから外す



❷ モーター取付けブラケットとモータ先端の穴をぞれぞれ合わせる



❸ ピンB差し込み、スピードピンを取付ける
（上図参照）

マザーユニットの組み立てかた

4.ベッドの動作を確認する

チェック

この時点で下記の項目を確認して下さい。

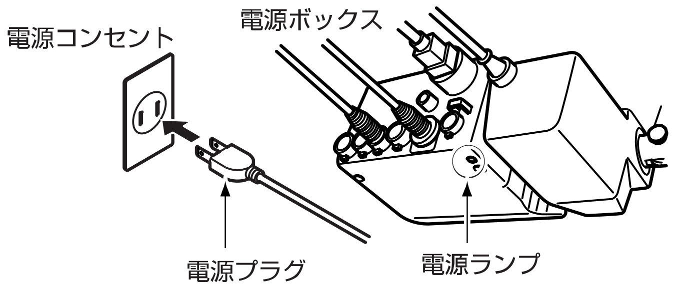
●電源ボックスの電源ランプは点灯していますか？
●手元スイッチのボタンを押したとき、手元スイッチのランプは点灯していますか？
●マザーユニットを取り付けたときのピンとスピードピンは確実に差し込まれていますか？
●異常音がしていませんか？
●「たかさ」がスムーズに作動しますか？

以上の項目を確認して、異常がある場合は、もう一度を最初から見直して下さい。
それでも直らない場合は、組み立てをやめて、電源プラグをコンセントから抜き販売店にご連絡ください。

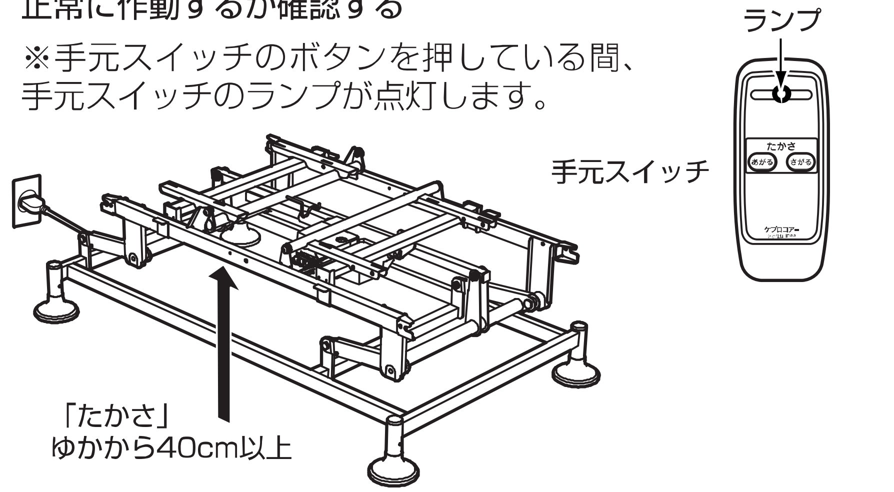
ポイント

「たかさ」は、十分上げた状態にしておくと、組み立てやすくなります。

❶ 電源プラグをコンセントに差し込む
※電源ボックスの電源ランプが点灯します。



❷ 手元スイッチの「たかさ」あがる・さがるのボタンを押し、正常に作動するか確認する
※手元スイッチのボタンを押している間、手元スイッチのランプが点灯します。

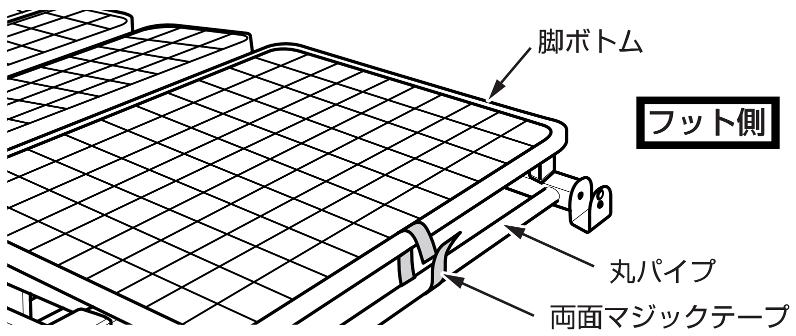


以降の組み立てかたや注意事項はケプロコアー820R／830の取扱説明書を参照して行って下さい。

ケプロコアー820R／830 と共通の組み立て項目	5.座ボトムを取り付ける	P19
	6.背ボトムを取り付ける	P20
	7.フロントフレームを取り付ける	P21
	8.膝ボトム・脚ボトムを取り付ける	P22
	9.リアフレームを取り付ける	P23
	10.マットレス止めを取り付ける	P24
	11.ヘッドフットボードを取り付ける	P25～P26

両面マジックテープの使用方法

ポイント

脚ボトムはフリーな状態になりますので、両面マジックテープで固定して下さい。

付属の両面マジックテープでイラストのように脚ボトムとリアフレームの丸パイプを固定して下さい。